

## 目標達成計画

作成日：平成28年11月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災対策として、地震・火事・水害などの災害が発生した際の具体的な避難方法及び、避難場所確保、地域との協力体制。	防災について定期的かつ密に話し合える環境作りをする。地域との協力体制の構築。防災時の具体的なマニュアルの作成(備蓄品の量・避難経路・職員の役割分担がより明確なもの)。	12月より防災対策委員会を発足。2ヶ月に1回の集会の開催により問題点を精査していく。運営推進会議開催日に地域の方を巻き込んだ防災訓練を実施する。	6ヶ月
2	40	食材の配達・メニューの決定をすべて業者に委託しているため、お客様自らが自己決定できる機会を奪っている。また、ホームから買い物に行くと言うお客様の役割や馴染みの生活を支援する事が不十分である。	お客様の自己決定や馴染みの暮らしの継続、また、共同生活上の役割の創出を支援して行く観点から、食事に関してのメニューの決定、食材の買い出しについての体制を見直す。	朝食、昼食に関して、メニューはお客様と共に決定し、その買い出しもお客様と共に行う。ご家族様にもグループホームの特性についてご了解を得た上で、外食やメニューの変更が気軽に行える機会を増やす。また、ご家族と共に食事を楽しめるスペースを作る。外食や買い物がイベント化もしくは画一的な行事にならないようその日その時のお客様の願望をかなえられるよう人員配置を整備する。職員にも定期的に啓発する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。